

教科名	国語	科目	国語総合（現代文）	単位	2単位
-----	----	----	-----------	----	-----

### 1. 教科書および副教材

教科書…『国語総合 現代文編』（東京書籍）

副教材…『入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）

『大学入学共通テストへのアプローチ』（いいずな書店）

『カラー版新国語便覧』（デジタル便覧・第一学習社）

『プログレッシブ現代文総演習基本編』（いいずな書店）

『改訂版現代文キーワード読解』（Z会出版）（特進クラスのみ）

### 2. 授業の目標および内容

評論文では、文化論や言語論、芸術論や科学論など様々な分野の文章を通じ、読解力や要約力の向上は勿論、自分と社会との結びつきを認識し思考する視点を獲得することを目標にします。また、文学的文章を通じ、感性と表現力を磨き、豊かな人生を送る一助とすることを目標にします。加えて、日常生活で出会う具体的な場面において、複数の資料から必要な情報を抽出したり、比較・検討して判断・表現したりする力を養います。その前提として、読解力の基礎となる語彙力や知見を養成するために、各種の小テストやテーマ学習等を行います。

### 3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次5月	二次7月	一次10月	二次12月	期末3月
学力試験	なし		第1回 9月		第2回 2月

※内容・評価等について

- ① 定期試験…教科書本文と漢字、及びテーマ学習の範囲から、平均点が60点程度になるように100点満点の問題を作成します。特進クラスは発展的な（初見の）問題も出題します。
- ② 学力試験…授業で既習の知識・技能等の習熟度を測り、日本大学基礎学力到達度テストや他大学一般入試の出題形式等を見据えながら、古典領域と合わせて「国語」として100点満点で出題します。進学クラス・特進クラス共通問題です。

### 4. 課題・補習について

長期休業中は『プログレッシブ現代文総演習基本編』等を課題とします。夏季休業中には、日本大学文芸コンクールの課題から各自がそれぞれ選択し、創作作品を提出します。講習は長期休業中に実施する予定です。講習・補習などは全体の学習状況を鑑みて、適宜実施します。

平素の課題は、漢字・語彙に関するテストや教科書本文の読み込み、及び演習プリント等です。なお、各小テストに不合格の場合は、追試や課題等を予定しています。

### 5. 平常点

授業への姿勢、ノート、小テスト等の点数、宿題提出などを考慮して平常点を加えます。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論「技術が道徳を代行する時代」</li> <li>・ 評論「水の東西」</li> <li>・ 評論「客観的と抽象的」</li> <li>・ 小説「羅生門」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 典型的な論の展開に触れると同時に、自明性を疑うという評論的発想を学び、現代社会が直面している問題を認識する。</li> <li>○ 文化・宗教論の読解を通して日本と欧米の文化について理解を深める。また、対比に注目して、筆者の意見を読み取る。</li> <li>○ 評論文の基本的な型や読解方法を学び、評論文を読むうえで必要な基本語彙を充実させます。</li> <li>○ 人物像や挿入説明、場面転換と心情変化など、小説読解に必要な基礎的な視点を獲得する。近代文学史についても学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各種小テストを実施。</li> <li>* 夏季休業課題は『プログレス現代文総演習基本編』の指定範囲が中心。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論「言葉は『ものの名前』ではない」</li> <li>・ 評論「広告の形而上学」</li> <li>・ 小説「城の崎にて」</li> <li>・ 評論「映像文化の変貌」</li> <li>・ 評論「メディアが作る身体」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語論を扱う文章の読解を通して言葉が持つ役割を理解する。また、「意見の対比」や譲歩構造などに注目して、筆者の主張を読み取る。</li> <li>○ 現代資本主義の仕組みについて理解を深める。また、評論文の典型的な骨組みを理解する。</li> <li>○ 場面と内面の同値、人物と人物の対比に注目して本文を読み進めることで、小説を客観的に読む力を獲得する。また、近代文学史についても学ぶ。</li> <li>○ メディア論・芸術論・身体論に触れることで、複製が芸術にもたらす影響を理解する。また、「具体と抽象」や「時間の対比」に注目して、筆者の意見を読み取る。</li> </ul>	1 学期に準じる。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評論「生物の多様性とは何か」</li> <li>・ 小説「富嶽百景」</li> <li>・ 詩「小景異情」</li> <li>・ 短歌・俳句</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 科学的なものの見方や思考の枠組みを知り、世界を見つめる視点を獲得する。また、構造や因果関係等に注目して、筆者の意見を読み取る。</li> <li>○ 小説に描かれた登場人物の感じ方や生き方などを話の展開に注意して読み取る。</li> <li>○ 詩・短歌・俳句と作品について解説した文章を突き合わせることで、作品への理解を深めるとともに、表現技法を知り、使えるようになる。</li> </ul>	1 学期に準じる。

\* 扱う内容については変更する場合がある。また、特進クラスは他大学受験を見据えてより深く学んでいくこととなる。